

第 22 回 長岡高専専攻科 環境都市工学専攻特別研究発表会

日 時：令和 5 年 1 月 26 日（木）10：10～17：00（9：30 受付開始）

場 所：アオーレ長岡

10：10～10：15 環境都市工学専攻 専攻主任挨拶

専攻科 1 年生特別研究中間発表ショートプレゼンテーション（口頭発表 4 分）

「西棟 1 階 市民交流ホール A」（司会：AC2 学生）

10：15～10：51

五十嵐 崇史 「国内向け橋梁概略点検システムの運用と高度化」

稲垣 琉右孔 「生体信号に基づくコンクリート構造物の目視評価スキルの形式知化」

岡村 実咲 「SM490Y 製溶接組立て部材の腐食損傷に伴う初期不整の変化」

恩田 樹安 「コンクリートの品質確保に資するコンクリート打込み技能の標準化」

小林 優衣 「長距離を流動する泥水流の平衡状態に至る発達過程の流動解析」

櫻井 真希 「熟達点検者の形式知に基づく既設コンクリート構造物の打音点検精度向上トレーニング方法の開発」

高野 莉杏 「橋梁定期点検調書を用いたコンクリート部材の劣化傾向」

藤田 祐樹 「浄化槽における現地で測定可能な水質パラメータを用いた処理水 BOD 予測技術の開発」

古川 諒太 「ステンレス鋼製開断面柱部材の強度評価法」

10：51～12：10 昼 食

専攻科 2 年生特別研究発表（ショートサマリ 3 分，口頭発表 10 分，質疑 5 分）

「西棟 1 階 市民交流ホール A」（司会：AC1 学生）

12：10～12：28 荻田 暁光

「熟達左官職人の技能の可視化」

12：28～12：46 児玉 瑞樹

「衝撃弾性波法を用いたコンクリート橋小遊間部の欠陥領域評価手法の開発」

12：46～13：04 関川 周吾

「VR を活用した既存構造物の目視点検技能継承法の確立」

13：04～13：22 高嶋 冬依

「路面性状データを用いた舗装補修工法の使用目標年数評価手法の開発」

13：22～13：40 土田 統也

「「塩分吸着材」を添加した交換可能な成形パネルの接合によるコンクリート構造物の塩害抑制工法の開発」

13：40～13：50 休 憩

13：50～14：08 中村 健人

「Cr-Ni 系ステンレス鋼製中空正方形断面柱の連成座屈強度評価法」

14：08～14：26 中村 柊太

「橋梁点検精度の平準化を目的とした点検技術者育成講座の教育効果と教育手法の検証」

14：26～14：44 星野 由

「ステンレス鋼と炭素鋼の異材継手部の腐食性状および引張強度特性」

14：44～15：02 宮 翼

「吸水させたコンクリート表面の輝度の時間変化に基づく広域な表層品質評価法の実装」

15：02～15：20 山田 悠作

「SUS316 および SUS323L の材料構成モデルに関する実験的研究」

15：20～15：38 和田 知大

「数値シミュレーションによる厚板構造用鋼製部材の溶接継手部における残留応力および変形の把握」

15：38～15：43 講評

専攻科 1 年生特別研究中間発表（ポスター発表 60 分） 「アリーナ」

15：50～16：50

*ポスター発表は長岡高専専攻科電子機械システム工学専攻，物質工学専攻と合同で行います。